

富山市水辺をきれいにする会 ～神通川の魅力を伝える～



1. 地域の概要

富山市水辺をきれいにする会は富山漁協(内水面)及びとやま市漁協(海面)で構成され、内水面ではモデル地区に選定されている。活動場所である富山市は、岐阜県飛騨山脈を源として富山湾へと流れる神通川を有しており、古くはサクラマス、サケ、アユの皇室の御猟場に指定されるなど、豊かな川の幸に恵まれていた。富山の特産物として有名な「ますの寿し」も元来は神通川のサクラマスによりつくられていた。

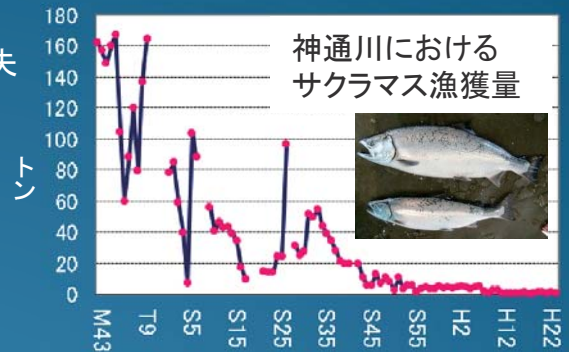


2. 現状と課題

サクラマス資源が減少

- ・河川開発やダム造成によりサクラマスの遡上範囲が17.1%まで消失
- ・神通川での漁獲量は160トンから1トン程度にまで激減(右図)
- ・他の魚種でも遡上範囲や生息域が減少

➔ 神通川の魅力を高め、豊かな川を取り戻したい



3. 神通川の魅力を高める主な取組み

H25,26 サクラマス自然産卵観察会



神通川水系熊野川で、地元小学生を対象にサクラマス自然産卵観察会を開催。河川やそこに住む生き物についても学習。



観察会とあわせて富山漁協の神通川サケ増殖場も見学。神通川の生態系を豊かにする取組について学んでもらった。

H26 手づくり魚道の設置



設置前



完成(左岸側)



参加者全員で



遡上を確認(10/16)

神通川水系黒川で、土嚢や間伐材等を用いた手づくり魚道を設置。4日間(10/7～10)かけて作製し、最終日には地元大学生、海面漁協も参加。数日後にはこの魚道を使って遡上するサクラマスも確認された。



魚道完成後は参加者の方々を対象に、神通川産サクラマスを特別に使用した「ますの寿し」試食会を開催